

カリキュラム

1年次

学びの基礎固めの1年間。資料の集め方やまとめ方なども学びつつ、幅広い領域を扱う多彩な授業を通じて知識を広げ、多様な人間理解の方法などに触れていきます。

2年次

社会文化、人間教育、社会福祉、スポーツ・コミュニティの4コースに分かれ、興味を持ったテーマを中心に、専門知識を身につけていきます。

3年次

興味のある領域やテーマを研究している教員のゼミナールに参加。文献を読み、レポートを書き、ゼミナール内で議論します。専門性を深めるだけでなく、問題を理解し、考える力を養っていきます。

4年次

3年間で身につけた知識や技能を最大限に活用し、卒業論文の作成を目指し、自分の関心のあるテーマを深く研究していきます。臨床心理学科・心理学科の教員にも指導を受けることができます。

教養科目	共通教養科目	宗教学 哲学 倫理学 文学 歴史学 論理学 音楽	美術 心理学 言語学 法学 政治学 経済学 日本国憲法	社会学 文化人類学 地理学 教育学 国際学 科学思想史 数学	物理学 化学 生態学 生物学 生理学 宇宙地球科学 総合講座I~X	情報基礎 情報活用 情報A~E
	外国語・体育科目	英語I~IV トピックで学ぶ英語A~D	フランス語I~IV ドイツ語I~IV	中国語I~IV コリア語I~IV	運動と健康I・II スポーツと人間I・II	スポーツ・レクリエーションI・II
学部教養科目	人間科学の基礎 キャリアライフ論	生命科学 基礎統計学	死生学 国際社会論			
学部共通 専門科目	心理学概論 社会学概論	社会福祉学概論 教育学概論	臨床心理学概論 人間科学演習I・II	卒業研究		

専門教育科目	学科共通	人間科学概説 人間発達論 生涯学習概論 現代文化論 ジェンダー論 地域とグローバルコミュニティ 人間生活の歴史と福祉 ウェルネスライフ論 スポーツ文化論 遊びと人間 児童家庭福祉論 人間科学基礎演習I・II 手話コミュニケーション コミュニケーションスポーツ 情報社会論 臨床社会学	現代環境論 教育社会学 現代社会と社会教育 社会教育計画I・II 発達臨床心理学 社会教育の方法 国際教育論 児童家庭福祉実践論 ケアマネジメント論 障害者福祉実践論 国際ソーシャルワーク論 医学知識 精神医学I・II 精神保健学II 精神科リハビリテーション学 相談援助実習指導I~III	精神保健福祉援助実習指導I~III 社会心理学 青年心理学 教育心理学 発達臨床心理学 学校臨床心理学 教育評価 実存の人間論 人間科学特講 海外人間科学研修 経済学I・II(国際経済学を含む) 法律学I・II(国際法を含む) ソーシャルワーク実践理論 コミュニケーション演習 就労支援サービス 更生保護制度	精神保健福祉援助技術総論 精神障害者の生活支援システム 多変量解析入門 教育環境学 社会教育実習 社会教育課題研究 社会保険論II ケースワーク演習 ケーススタディ演習 精神保健福祉援助演習I・II 精神保健福祉援助技術各論 精神保健福祉制度論 相談援助実習I・II 精神保健福祉援助実習I・II 行政学 行政法	政治学I・II(国際政治学を含む) 教育行政学 教育相談の理論と方法 哲学 倫理学 社会福祉行政論 社会福祉運営管理論 権利擁護と成年後見制度 グループワーク演習 コミュニティワーク演習 西洋史 地理学 東洋史 日本史 地誌学
	社会文化コース	現代社会論 社会調査法I・II 現代家族論	サブカルチャー論 映像文化論 逸脱行動論	文化人類学 現代マスコミ論 現代社会と階層	グローバル文化論 労働と人間 社会調査実習I・II	メディア文化論 市民社会論 日本文化論
	人間教育コース	子ども・若者活動支援論 人間教育実践論 家庭教育論 現代学校教育論	生徒指導・進路指導 社会教育の基礎 ボランティア論 コミュニティイベント論	子ども・遊び・自然 社会調査法I スクール・ソーシャルワーク論 身体運動の理論と実際	子ども文化論 生きがい論 レクリエーション指導 スポーツライフの理論と実際	教育・スポーツ調査法 地方行政の運営と方法
	社会福祉コース	社会福祉学原論 ソーシャルワーク論 老人福祉論 障害者福祉論	貧困と公的扶助 介護概論 精神保健学I 社会福祉援助技術総論	医療福祉論 スクール・ソーシャルワーク論 地域福祉論 精神保健福祉論	福祉カウンセリング ケースワーク・グループワーク論 コミュニティワーク論 社会保険論I	
	スポーツ・コミュニティコース	コミュニティスポーツ論 地方行政の運営と方法 スポーツ心理学 スポーツカウンセリング	現代社会と健康問題 子ども・遊び・自然 コミュニティと社会教育 コミュニティイベント論	社会教育の基礎 ボランティア論 障害者スポーツ論 身体運動の理論と実際	社会調査法I レクリエーション指導 スポーツライフの理論と実際 教育・スポーツ調査法	スポーツ観戦論 介護予防の理論と実践



社会調査実習II

社会調査の技法を学び、見えざる事実をデータに基づき明らかにしていきます。授業ではテーマをもとにアンケートを実施。少人数グループでデータ入力とクリーニングを行い、調査結果を集計・分析して報告書を作成し、最終的にポスターなどを活用して学内に公開します。



児童家庭福祉実践論

虐待、いじめ、家庭の貧困。社会福祉の観点から、児童の家庭問題について多面的に掘り下げていきます。映像コンテンツを通じて自分の生活のすぐそばで起こっている問題であることを深く認識し、学生同士でディスカッション。問題を広く伝える為に、ポスターを制作してショーウィンドウに展示して発表します。



子ども・遊び・自然

「遊び」と「自然」をテーマにした、体験型の宿泊プログラムです。ケータイやデジカメ、時計など、あらゆる電子機器を使わずに、夏は湖での水上プログラム、冬は雪山での雪上プログラムなど、様々な活動に思いきりチャレンジします。子どもの成長にとっての体験の意味を、自らの体験を通じて考える為の授業です。



人間科学演習II

学生自身が関心を持つテーマへの理解を深める授業です。何を選ぶかはあなた次第。指導教員は専門家としての立場からアドバイスを行い、学生自身が主体となって文献研究、実験研究、調査研究、事例研究を進めていきます。最後の授業では論文をまとめ、研究から得た新たな発見、事実を発表していきます。

カリキュラム

1年次

「学部共通専門科目」と「学部教養科目」で視野を広げつつ、大学での学びの基礎を習得します。また、臨床心理学の専門科目を学び始めます。

2年次

心理学や臨床心理学の基礎を学んでいきます。また、心理学実験や臨床心理面接・検査法などの基礎的技法も習得します。さらに、6つのフィールドから自分の興味のある分野を選び、科目を履修していきます。

3年次

心のケアについて理解を深める為、心理療法などの専門的技法を学習。ゼミ形式の演習も必修です。他の学科の教員にも指導を受けることができ、臨床心理士(大学院進学)や公務員心理職など、学生自身の希望に即した専門的学習を進めます。

4年次

臨床心理学や臨床心理技法を演習中心に学習。ゼミでは興味を持ったテーマで4年間の集大成の卒業研究を行います。人間科学科・心理学科の教員に指導を受けることも可能です。

教養科目	共通教養科目	宗教学 哲学 倫理学 文学 歴史学 論理学 音楽 美術	心理学 言語学 法律学 政治学 経済学 日本国憲法 社会学 文化人類学	地理学 教育学 国際学 科学思想史 数学 物理学 化学 生態学	生物学 生理学 宇宙地球科学 総合講座I~X 情報基礎 情報活用 情報A~E
	外国語・体育科目	英語I~IV トピックで学ぶ英語A~D フランス語I~IV	ドイツ語I~IV 中国語I~IV コリア語I~IV	運動と健康I・II スポーツと人間I・II スポーツ・レクリエーションI・II	
学部教養科目	人間科学の基礎 キャリアライフ論	生命科学 基礎統計学	死生学 国際社会論		
学部共通専門科目	心理学概論 社会学概論	社会福祉学概論 教育学概論	臨床心理学概論 人間科学演習I・II	卒業研究	

専門教育科目	臨床心理学文献講読I~III 心理学研究法 感情・人格心理学 知覚・認知心理学 発達心理学 学習・言語心理学 神経・生理心理学 公認心理師の職責 社会・集団・家族心理学 心理学実験 臨床心理面接・検査演習 心理調査法 障害者・障害児心理学 家族心理学 人間性心理学 実存的人間論 イメージ心理学 異常心理学 発達臨床心理学 学校臨床心理学	教育心理学 青年期の臨床心理 福祉心理学 犯罪被害者の心理 臨床心理とキャリア 教育評価 心理学的支援法 教育・学校心理学 産業・組織心理学 人体の構造と機能及び疾病 心理学統計法 心理的アセスメント 家族療法 精神分析 音楽療法 分析心理学 司法・犯罪心理学 健康・医療心理学 認知行動療法 子どもの心理療法	コミュニティ心理学 グループアプローチ 教育相談の理論と方法 産業カウンセリング 臨床心理学特講 関係行政論 心理演習 精神疾患とその治療 臨床心理学総論 芸術療法 心理実習(80時間以上) 現代社会論 現代学校教育論 教育社会学 現代家族論 逸脱行動論 地域とグローバルコミュニティ ボランティア論 ソーシャルワーク論 経済学I・II(国際経済学を含む)	法律学I・II(国際法を含む) 生徒指導・進路指導 海外人間科学研修 西洋史 地理学 東洋史 日本史 地誌学 教育行政学 日本文化論 現代社会と階層 労働と人間 行政学 行政法 政治学I・II(国際政治学を含む) 哲学 倫理学
--------	--	--	---	---



臨床心理面接・検査演習

少人数のグループに分かれて、カウンセリングの面接法と検査法を実践的に身につけていきます。学生同士でロールプレイをしながら「質問」「明確化」「感情の反映」などの技術を磨き、「知能検査」「質問紙検査」「投影法検査」などの理論についても学習。現場で必要とされる専門技術を習得します。



臨床心理学文献講読I

人間科学の課題や方法論を学ぶ為には、膨大なデータ、研究成果の結晶である文献をひも解いていく必要があります。文献講読Iは大学1年生を対象に、これまで臨床心理学領域で議論されてきた研究対象、研究方法をレクチャー。多彩な文献を読破するなかで、自身の興味関心のあるテーマを見つけていきます。



家族療法

家族療法とは、クライアントを含む家族システム全体を援助する心理療法のこと。この授業では、主な学派(多世代学派、構造学派、コミュニケーション学派、解決志向アプローチ、ナラティブなど)の理論を学ぶとともに、リフレーミングなどの変化を促す技法についても実践的に学びます。



犯罪被害者の心理

犯罪被害の事例を取り上げ、社会の実態を調査。ゲストスピーカーも招き、警察や犯罪被害者センターの被害者支援、司法機関での加害者矯正教育がどのように行われているかを学んでいきます。被害者の立場だけでなく、加害者の立場からも犯罪が起きる社会的背景を考察していきます。

カリキュラム

1年次

専門科目の基礎固めとなる大切な1年間です。人間科学全般の基礎を学部共通科目で学び、大学での学習に慣れながら、幅広い領域の知識に触れて、2年次以降の専門的な学習に備えます。

2年次

専門的な領域の知識を深める為、3つのコースに分かれます。また、心理学基礎実験の授業が始まり、「健康心理アセスメント」や「ビジネス心理学」など専門科目が増えます。

3年次

自分の興味のある領域やテーマを研究している教員のゼミナール(人間科学演習)に参加。文献を読み、実験や調査を計画・実施し、その結果について考察したものを基に議論を行います。知識を得るだけでなく、問題を理解し考える力を養います。

4年次

これまでに身につけた知識や方法を最大限に活用し、自分が決めたテーマについて各自で計画を立てた心理学研究を実施し、卒業研究としてまとめます。人間科学科・臨床心理学科の教員にも指導を受けることが可能です。

教養科目	宗教学 哲学 倫理学 文学 歴史学 論理学 音楽 美術	心理学 言語学 法律学 政治学 経済学 日本国憲法 社会学 文化人類学	地理学 教育学 国際学 科学思想史 数学 物理学 化学 生態学	生物学 生理学 宇宙地球科学 総合講座I~X 情報基礎 情報活用 情報A~E
外国語・体育科目	英語I~IV トピックで学ぶ英語A~D フランス語I~IV	ドイツ語I~IV 中国語I~IV コリア語I~IV	運動と健康I・II スポーツと人間I・II スポーツ・レクリエーションI・II	
学部教養科目	人間科学の基礎 キャリアライフ論	生命科学 基礎統計学	死生学 国際社会論	
学部共通 専門科目	心理学概論 社会学概論	社会福祉学概論 教育学概論	臨床心理学概論 人間科学演習I・II	卒業研究

学科共通	心理学研究法 心理学統計法I・II 心理学実験I・II 心理学的支援法 健康心理学概論 生理心理学(神経・生理心理学I) 人格心理学(感情・人格心理学I) 社会心理学(社会・集団・家族心理学I) 学習心理学(学習・言語心理学I) 認知心理学(知覚・認知心理学I) 発達心理学	公認心理師の職責 心理調査法 ストレスマネジメント スポーツ心理学 家族心理学(社会・集団・家族心理学II) 市場調査論 キャリア発達心理学 対人関係の心理学 青年心理学 スポーツカウンセリング 言語心理学(学習・言語心理学II)	障害者・障害児心理学 心理的アセスメント キャリア開発実習 福祉カウンセリング 司法・犯罪心理学 文献講読 海外人間科学研修 人体の構造と機能及び疾病 精神疾患とその治療I・II 精神保健学I・II 医療福祉論	法律学I・II(国際法を含む) 経済学I・II(国際経済学を含む) 政治学I・II(国際政治学を含む) 哲学 倫理学 行政学 行政法 現代社会と階層 日本文化論 関係性論
心理学コース	心理学実験法 実験心理学	感情心理学(感情・人格心理学II) 知覚心理学(知覚・認知心理学II)	心理測定論 心理学近現代史	生涯発達心理学 神経心理学(神経・生理心理学II)
健康心理学コース	健康心理アセスメント 福祉心理学 教育・学校心理学	健康・医療心理学 健康心理カウンセリング 健康教育指導法	生命倫理と法 心理演習 心理実習I・II	
ビジネス心理学コース	産業・組織心理学 消費行動心理学	ビジネスコーチング心理学 産業カウンセリング	ビジネス心理学 ビジネス心理学実習	ビジネスと法 ビジネスコミュニケーション技術論



知覚心理学

目や耳など感覚器からの情報により、物事を認識する。それを支えているのが知覚という人間の機能です。私たちが外界の環境をどのように認識しているのか、また物理的な特徴とどのように異なっているのか。身近な経験談も交えながら、錯覚などのメカニズムについても学習。驚きながら、楽しみながら、人間の不思議を学んでいきます。



ビジネス心理学実習

ビジネスのなかで、どのように心理学が実践されているのか。企業を訪問するフィールドワークを通じて、ビジネス心理学の力を肌で実感していきます。最前線で活躍するビジネスパーソンへのインタビューを実施。グループ学習の成果をポスターにして、学生の前でプレゼンテーションします。



心理学実験I・II

代表的な5つの心理学実験・調査を、自らが実験者・実験参加者となって実践していきます。実験を通じて、データ収集・処理、推計学的検定、科学的なレポートの作成方法など心理学研究を自らの力で行う為の方法について学習します。



市場調査論

魅力的な商品がみなさんの手元に届くまでどのような経過をたどっているのでしょうか。市場調査の基礎を学んだあとは、少人数グループに分かれて教室の外へ、越谷キャンパス内のマーケティングリサーチに挑戦し、「キャンパスグッズ開発」「みんなが利用したくなる学食」「文教カフェの活性化」などの提案に結びつけていきます。